

☆くしろ 市議会だより

News from
Kushiro City
Assembly

2019年
11月
No.63

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)
TEL 31-4581 FAX 23-7679
メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp
URL ホームページ
https://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html
フェイスブックページ
https://www.facebook.com/kushiroshigikai



次回の12月定例会は、
12月4日(水)午前10時から開会の予定です。

ぜひ、傍聴に
お越しください!

●9月定例会の概要

9月4日(水)に始まった釧路市議会第5回9月定例会は、9月25日(水)に22日間の会期を終え閉会しました。

開会日の冒頭、市長より「第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定」、「第1回コンパクトなまちづくり大賞の受賞」、「ロシア国際漁業フォーラムへの出席」、「台北市立動物園交流事業」、「ベトナム・パラリンピック選手団の合宿に係る基本合意書の締結」、「工事発注状況」について市政報告がありました。

本会議の質疑・一般質問では、15人の議員が登壇し、防災対策、まちづくり、福祉施策、教育行政、平和問題などに関する質問があり、多岐にわたる議論が交わされました(2・3面参照)。また各委員会においては、補正予算のほかそれぞれの所管事項についての審査を行いました(3面参照)。

13日の本会議採決では、元年度一般会計および特別会計補正予算など37件の議案のほか、「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」、「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める

議会日程

7/12,8/26	議会広報特別委員会
8/29	議会運営委員会
9/3	都心部市街地整備特別委員会
9月定例会(会期22日間)——	
9/4	本会議 市政報告、提案説明、質疑・一般質問
9/5,6	本会議 質疑・一般質問
9/9~12	常任委員会審査
9/11	石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
9/12	議会広報特別委員会
9/13	委員会採決 本会議 委員長報告、採決
9/17~24	決算審査特別委員会審査
9/25	決算審査特別委員会採決 本会議 委員長報告、採決

市議会インターネット 中継をご利用ください

市議会ホームページでは、本会議の様子をインターネット中継しています。気軽に本会議の様子を見ることができますので、ぜひ、ご利用ください。



(文責・議会広報特別委員長 工藤正志)

また、17日から24日にかけては、各委員会および企業会計の二つの特別委員会において30年度の決算審査が行われ、25日の本会議採決では、決算議案8件を認定し、併せて、教育委員会委員などの人事案件3件に同意しました(4面参照)。

意見交換会を開催しました

市議会では、市民の皆さまと議員が自由に意見交換する場として、毎年「議会報告会」を開催していますが、昨年度より、特定のテーマを設定し関係団体と意見交換を行う「意見交換会」も開催しています。今年度は、7月31日(水)に、北のビジネス発見隊の皆さまと音別町行政センターにおいて、「音別町のまちづくり」をテーマに意見交換を行いました。

北のビジネス発見隊からは10名の方にご参加いただき、人口減少や住宅等に関する課題、また旧行政センター跡地活用に関する質問など、積極的なご発言がありました。若い方々の、地域が直面するさまざまな課題に向き合いながら、音別町のまちおこしにける熱い思いとエネルギーを感じた一日となりました。

経済建設常任委員会 市内視察

経済建設常任委員会では、9月11日(水)に大栗毛下水終末処理場で新たに建設中の貯留槽と、新愛国浄水場の建設現場を視察しました。

貯留槽は令和2年5月完成予定で、これにより、異常降雨時に一時的に汚水を貯留することが可能となることから、これまで昭和地区の一部などで生じていた水洗不能な状況が緩和されます。

新愛国浄水場は、老朽化の進む現施設を更新するため建築中で、令和6年度供用開始予定です。



上:貯留槽建設現場 下:新愛国浄水場建設現場

フェイスブック等で市議会の情報を発信

市議会では、皆さまに議会活動をより分かりやすくお伝えするため、議会だよりの他、フェイスブックやホームページで議会関係情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。アドレスは1面(右上)に掲載しています。



党派略称説明

自政ク 自民市政クラブ
共産党 日本共産党議員団

市民連合 市民連合議員団
新風 釧路に新しい風

公明党 公明党議員団
新創ク 新創クラブ

市議会ホームページ
で発言通告一覧をご
覧いただけます。



今定例会では、15人の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

●9月4日(水)

新風 栗屋 剛議員
「釧路駅の『大改装』に向けた協議の場を」

問 街の顔である釧路駅は、高架化などの「大改装」はすぐにはできないと思うが、外壁の塗り替えなどの「大改装」は今すぐにでも着手し、できることからやっていくべきである。JR北海道、とりわけ釧路駅と協議する正式な場を早急に設けるべきではないか。

答 これまでも釧路駅の機能を鑑みて、交通バリアフリーや地域公共交通をテーマとして、JR北海道と協議を行ってきた。現在行っている、利用促進を中心とした取り組みの中で、協議の場において、提案のあった趣旨を伝えながら、共にまちづくりを考えるという点で意見交換をしていきたい。

公明党 松原 慶子議員
「公共トイレにユニバーサルシートの設置促進を」

問 障がい児・者および高齢者が外出に不安を感じる理由の一つに、公共トイレのユニバーサルシートの不足や使用済み紙おむつを捨てるごみ箱がないことがある。安心して外出できる環境を目指し、設置を進めるべきではないか。

答 おむつ交換や着替えなどに利用できるユニバーサルシートは、現在、防災庁舎や中央図書館、湿原の風アリーナ釧路、こども遊学館、各総合病院の多目的トイレなどに設置されている。今後、障がいのある方の意見を伺い、設置が必要と判断される場合には、関係機関に伝えるなど、環境整備に努めていきたい。

自政ウ 山口 光信議員
「地元事業者の経営安定化に向けた環境整備を」

問 公共工事の書類簡素化とゼロ市債の安定的な工種別の発注が求められていると考えるがどうか。また、ゼロ市債を12月議会において議決できる環境を整えるべきではないか。

答 書類の簡素化については、国や道において進められており、今後、市の発注工事についても、モデル工事等による効果の検証を行った上で進めたい。ゼロ市債事業は、効率的な会社経営に貢献していることから、安定的な発注が図られるよう、継続して取り組みたい。12月議会での議決については、会計年度の関係などもあり、現状では難しい。

市民連合 板谷 昌慶議員
「街路灯の高い安全性確保に向けた対策を」

問 老朽化が進む街路灯の倒壊事故を防ぐため、高い安全性の確保に向けての基準の設定を含めた対策を検討すべきではないか。

答 昨年度より交通量の多い主要幹線道路から、国の交付金事業を活用した街路灯の点検を順次行っている。点検基準に関しては、国や道から示されている道路施設の定期点検要領に基づいて施設の健全度を評価しており、その結果、緊急性が高いと判定されたものから、順次、建て替えを主体とする補修を行っている。今後、道路パトロールや市民からの通報など、情報収集を徹底し、安全管理に努めたい。

新創ウ 大越 拓也議員
「小学校における市立博物館が果たす社会的役割」

問 博物館では国の天然記念物であるタンチョウと天然マリモ、アイヌ文化に関する資料等も展示されており、1つの施設でこれらを学べることは社会教育施設として大変有意義であると考えますが、小学校における利用状況について聞きたい。

答 平成30年度に社会見学などで博物館を利用した小学校は10校である。館内では、郷土文化なども学べる貴重な資料を展示しており、釧路市社会教育推進計画の中でも、地域や学校において文化財に関する学習機会の充実を掲げている。今後も、より多くの学校に利用してもらえよう、周知に努めたい。

●9月5日(木)

共産党 西村 雅人議員
「国民健康保険料を引き下げるため、一般会計からの繰り入れを」

問 高すぎる国民健康保険料を引き下げるために、一般会計から国民健康保険特別会計に繰り入れをして、対策を考えるべきではないか。

答 国民健康保険制度は加入者全体の相互扶助で支える仕組みを基本としており、保険料負担緩和分などの一般会計からの法定外繰り入れは、計画的あるいは段階的に解消すべきという国の基本方針を踏まえていくことが、将来の国民健康保険制度の安定化につながると考えている。今後も国へ財政支援拡充を要望するとともに、保険料収納率向上対策や医療費抑制対策等に取り組むながら、保険料の抑制に努めていく。

公明党 河合 初恵議員
「学びの情報が受け取りやすいインターネット環境の整備を」

問 学校教育公式ポータル「学びと遊び」は、学校教育に関する情報を1カ所に集約することで、情報をよく受け取りやすくするサイトであることから、学校ホームページにリンクさせるべきではないか。また、以前サイト内にあった、千歳科学技術大学が作成した、インターネット上で英語の個別学習ができるシステムの周知と、登録方法の情報提供について聞きたい。

答 「学びと遊び」の学校ホームページへのリンクについては検討する他、保護者や児童に対するシステムの周知方法についても、どのような手法があるか検討していきたい。

自政ウ 金安 潤子議員
「教員の負担増に対する対策を」

問 いじめアンケート質問項目の文言変更により、子ども達が訴えやすくなった状況は良とするが、そのためにアンケート後の聞き取り対象者の増加による教員の負担増を認識しているのか。教員の加配を含め対策を講じるべきではないか。

答 教員の負担増については認識している。北海道の加配制度の中には、いじめ、不登校などの児童に対応する、児童生徒支援加配という制度もあることから、各学校には制度の活用について、改めて周知していきたい。

市民連合 松尾 和仁議員
「通学路への防犯カメラ設置を」

問 子どもたちを犯罪から守る効果が期待できる防犯カメラを、通学路を中心に、設置すべきと考えるがどうか。

答 通学路の安全対策については、学校支援ボランティアによる見守り活動をはじめ、学校、地域および関係機関が一体となったさまざまな取り組みを行っている。その中には町内会自らが防犯カメラを設置した事例もある。今後も、国の支援制度の動向を注視しながら、地域等との連携の下、子どもたちの安全確保に努めるとともに、電柱を活用して安価に導入した他自治体の事例についても情報収集していきたい。

共産党 工藤 正志議員
「ボランティア用ごみ袋の配布窓口拡大を」

問 公共の場所でのボランティア清掃などで集めたごみを捨てることのできる「ボランティア用ごみ袋」を、古川町の環境事業課で無料配布しているが、釧路地区4支所でも、新たに配布できないか。

答 ボランティア用ごみ袋は、平成17年のごみ有料化に伴い、ボランティア清掃活動の負担軽減と推進を図るため、希望する団体や市民に配布している。環境事業課の他、本庁の環境保全課でも配布しており、来庁が困難な方には直接自宅へ届けている。配布窓口の拡大については、配布枚数の推移なども注視しながら、関係各課と検討していきたい。

用語解説

※1 ユニバーサルシート

多目的トイレに設置されている大型の多目的シート。大人でも、衣服の着脱やおむつ交換などが可能。

※2 ゼロ市債

通常、新年度に発注する工事を前年度中に債務負担行為を設定することで、年度内又は新年度早々の工事着手を可能とするもの。

委員会審査

3 常任委・4 特別委

3常任委員会と4特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会
松尾 和仁 委員長

**中学生の授業改善
「先進地との教員交流を」**

「小中学生を対象とした全国学力・学習状況調査において、中学生の成績が全国平均を下回っている状況を改善する一環として、効果的な授業改善の事例や実績のある先進地との教員交流などの考えはないか。」との質問がありました。

教育長は、「調査結果については重く受け止めており、各学校における検証改善サイクルの見直し、小中学校間の連携強化などの対応を行っている。授業改善につながる先進地の取り組みについては検討していきたい。」と答えました。

経済建設常任委員会
大澤 恵介 委員長

**阿寒・音別地域の市営住宅に係る共益費
「入居率を考慮し市で負担の検討を」**

「阿寒・音別地域の市営住宅は、入居率が50%の団地もあり、共益費の負担が大きくなっている。市営住宅は困窮度によって入居が決定されているため、共益費の負担が大きくなっている状況を踏まえ、入居率が80%以下になった場合、市が一定程度補助するなどの仕組みが必要と考えるが、見解を聞きたい。」との質問がありました。

市長は、「市営住宅の共益費は入居者で負担することとしており、多くの自治体で同様の仕組みとなっている。今後の住宅政策の進め方についても、他自治体のさまざまな情報をしっかりと収集していきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会
伊東 尚悟 委員長

**児童虐待防止
「親への啓発が重要」**

「児童虐待を防止するためには、親である大人に対する啓発が重要と考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか。」との質問がありました。

理事者は、「これまでも児童虐待に関するパンフレットを作成し、子どもがいる世帯などへ配布し啓発を行ってきたが、今年度は予防に重点を置き、厚生労働省が進める『愛の鞭ゼロ作戦』にある、虐待が子どもへの脳に与える影響などを掲載して、読んだ方の心に入るような内容としており、今後より一層周知に努めていきたい。」と答えました。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
月田 光明 委員長

**地産地消型新石炭生産システム導入
「市から貸付を行う理由は」**

「釧路コールマインの地産地消型新石炭生産システム導入に関し、なぜ市から4億円もの貸付を行うのか。」との質問がありました。

理事者は、「平成13年度に旧太平洋炭礦が閉山し、その後、多くの地元企業や市民の協力のもとに、市民炭鉱としてスタートした経緯がある。その後の石炭産業継続に向けては全市一丸となつて取り組むなど、地域にとつても大変大きな公益性を感じている。また、今回の事業は地域に大きな影響があると考えており、長期にわたりこの市民炭鉱を存続する環境を整えることが何よりも重要だと判断した。」と答えました。

都心部市街地整備特別委員会
草島 守之 委員長

**ゲートウェイの機能
「8つのエリアとの関係性は」**

「釧路都心部まちづくり計画（基本構想編）では、8つのエリアをゾーニングしていたが、この度の有識者会議でのゲートウェイ計画コンセプトとそれぞれの地域との関係性はどのようになるのか。」との質問がありました。

理事者は、「8つのゾーニングは、それぞれ独特の機能を持つているが、その中でもゲートウェイは玄関口としてメインエリアとなり、各ゾーニングの主要な部分と連携することで機能が強化するものと考えている。」と答えました。

本会議

質疑・一般質問

9月4日(水)～6日(金)

●9月6日(金)

公明党
月田 光明 議員

「市営住宅に設置されている住宅用火災警報器の更新を」

問 住宅用火災警報器の耐用年数は10年が目安とされており、火災時に古い火災警報器が作動しなかった事例も、全国的に数多く報告されている。市営住宅に設置されている火災警報器は、設置後13年目を迎えることから、早期の更新が必要ではないか。

答 入居者から故障等の申し出があった場合には、交換等について個別に対応しているが、設置から10年以上が経過していることから、更新にかかる年次の計画を早期に策定し、具体的な対策について来年度から進めていきたい。

自政ウ
高橋 一彦 議員

「学校給食センターの建て替え計画について」

問 学校給食センターの建て替えについて、1センター方式を考えていると思うが、複数箇所に建設すべきと考える。また、建て替えの場所を含めた計画はいつまでに策定する予定なのか。

答 庁内検討会議では、建設、運営両面の効率性の観点から、1センターにより市内全域をカバーする方法も含め、さまざまな検討している。期限を明示できる状況ではないが、早期の政策整備に向けて建設地の検討を深めるとともに、現在の学校給食センターの維持管理に万全を期していきたい。

共産党
村上 和繁 議員

「高レベル放射性廃棄物の地層処分場はきっぱりと拒否を」

問 国から高レベル放射性廃棄物の地層処分場の設置を求められたとしても、自然環境としても適地ではないことをはっきり明言し、きっぱりと拒否するべきではないか。

答 放射性廃棄物に関する問題については、市民の安全・安心はもちろんのこと、この地域の豊かな自然を保全し、生産地として信頼を守っていくことが重要であり、そういった信頼を損なうようなことについては、行うべきではないと考えている。

自政ウ
草島 守之 議員

「釜山港との外貿コンテナ定期航路における日韓関係悪化の影響は」

問 日韓関係の悪化から、さまざまな方面に影響が出てきている。今年4月から週3便に増便された韓国釜山港との外貿コンテナ定期航路について、現時点での見直しや変更はないのか。

答 主な輸出品目が紙・パルプや水産品であり、このたびの輸出管理対象品目でないことや、その最終の送り先が韓国ではなく、中国やベトナムであるなどの理由から、関係事業者からは、貨物の減少、減便などの影響はなく、今後の便数の見直しもないと聞いている。

共産党
梅津 則行 議員

「中央図書館の貸出冊数が他都市と比べて少ないのでは」

問 中央図書館の平成30年度の貸出冊数は約35万冊である。帯広市図書館のオープン3年目の約100万冊、北見市立中央図書館の約50万冊と比べると少ないと思うがどうか。

答 旧図書館時代である平成28年度の貸出冊数と比較して、平成30年度は1.2倍となっている。さらに図書館の魅力を高めるべく、近隣商店街と連携を図る事業を進めている他、蔵書についても、今年度中に約1万冊の購入を予定しているところである。

用語解説

※3 地層処分

原子力発電所から発生する高レベル放射性廃棄物等の最終処分方法の一つ。地下深くの安定した岩盤に閉じ込め、人間の生活環境から隔離して処分すること。

各会計決算審査
特別委員会

金安 潤子委員長

「学校給食センターの今後の在り方は」

学校教育部の審査において「各学校給食センターの老朽化が進んでおり、平成30年度の修繕費は410万円、過去3年間の総額では約2千600万円と多額の費用がかかっている。子どもたちに安全な給食を提供できる施設になっているのかどうか、改築の検討も含めて、市の見解を聞きたい。」との質問がありました。

教育長は、「子どもたちに安心、安全な給食を提供するという、学校給食の最大の役割を果たすために必要な経費であると考えている。今後の給食センターの在り方については、庁内会議を開催し、鋭意検討を進めている状況にあるが、まずは、現在の給食センターの維持について万全を期していきたい。」と答えました。

- ◎金安 潤子 ○森 豊
- 山口 光信 河合 初恵
- 大越 拓也 梅津 則行
- 板谷 昌慶 松尾 和仁
- (◎委員長 ○副委員長)

企業会計決算審査
特別委員会

酒巻 勝美委員長

「医業収益を上げるための人材確保」

病院事業会計の審査において「看護師等の負担軽減策として、看護助手ほか臨時職員の役割は非常に重要である。会計年度任用職員制度の開始に当たり、患者へのサービス向上を図るためにも、助手の増員や待遇改善が必要と考えるが、市の考え方を聞きたい。」との質問がありました。

市長は、「病院内の多様な業務をしっかりとサポートしてもらえようという体制づくりが重要である。特に看護助手については不足していると認識しており、業務内容などを精査しながら、人員確保が図られる処遇の在り方についてもしっかりと検討していきたい。」と答えました。

- ◎酒巻 勝美 ○村上 和繁
- 伊東 尚悟 高橋 一彦
- 栗屋 剛 松原 慶子
- 畑中 優周 岡田 遼
- (◎委員長 ○副委員長)

姉妹都市親善訪問

7月29日(月)から31日(水)の日程で秋田慎一議員、工藤正志議員の2名が鳥取県鳥取市を、また8月5日(月)から7日(水)の日程で高橋一彦議員、栗屋剛議員、松原慶子議員の3名が秋田県湯沢市をそれぞれ公式訪問し、姉妹都市である両市との交流を通じて友好の絆と相互理解を深め、今後も末永く交流していくことを確認しました。

令和元年第5回9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(認定・同意)となったもの (45件)

市長提出議案		議案		
予算	令和元年度 介護保険特別会計補正予算	条例	市立幼稚園利用者負担額等徴収条例を廃止する条例	
	令和元年度 魚揚場事業特別会計補正予算		釧路アイスアリーナ条例等の一部を改正する条例	
	令和元年度 動物園事業特別会計補正予算(議案第81号)		消防団に関する条例の一部を改正する条例	
	令和元年度 水道事業会計補正予算		消防手数料条例の一部を改正する条例	
	令和元年度 港湾整備事業会計補正予算	その他	訴えの提起の件	
	令和元年度 一般会計補正予算(議案第122号)		財産取得の件	
令和元年度 動物園事業特別会計補正予算(議案第123号)	市道路線の廃止の件			
決算	平成30年度 病院事業会計決算認定の件	その他	特定事業契約の変更に係る件(市立学校施設耐震化PFI事業(第一期))	
	平成30年度 工業用水道事業会計決算認定の件		特定事業契約の変更に係る件(市立学校施設耐震化PFI事業(第二期)その1)	
	平成30年度 下水道事業会計決算認定の件		特定事業契約の変更に係る件(市立学校施設耐震化PFI事業(第二期)その2)	
	平成30年度 公設地方卸売市場事業会計決算認定の件		福祉部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	
	平成30年度 市設魚揚場事業会計決算認定の件		産業振興部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	
条例	印鑑条例の一部を改正する条例	その他	観光国際交流センター及び幸町緑地の指定管理者の指定の件	
	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例		水産港湾空港部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	
	手数料条例の一部を改正する条例		都市整備部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	
	市立音別認定こども園条例及び保育に関する条例の一部を改正する条例		音別町社会福祉会館の指定管理者の指定の件	
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例		生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	
	音別地区コミュニティバス事業に関する条例		人事	教育委員会委員の任命について同意を求める件
	建築基準法施行条例の一部を改正する条例			公平委員会委員の選任について同意を求める件
	水道事業給水条例の一部を改正する条例			諮問
	意見書		議員提出議案	
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか8大臣)				
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣、国家公安委員会委員長)				
太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書(提出先:経済産業大臣および環境大臣)				
国民健康保険の子どもに係る均等割保険料軽減措置の導入を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)				
新たな過疎対策法の制定に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)				

◎ 賛否が分かれたもの (9件)

○賛成 ×反対

市長提出議案		議案						
件名	会派名[()内は議員数]※	自政ク(8)	市民連合(6)	公明党(5)	共産党(4)	新風(2)	新創ク(2)	審議結果
予算	令和元年度 一般会計補正予算(議案第78号)	○	○	○	×	○	○	可決
	令和元年度 一般会計補正予算(議案第124号)	○	○	○	×	○	○	可決
決算	平成30年度 各会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認定
	平成30年度 水道事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認定
	平成30年度 港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認定
条例	会計年度任用職員の給与等に関する条例	○	○	○	×	○	○	可決
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	×	○	○	可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可決
意見書	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣および法務大臣)	×	○	○	○	○	○	可決

※自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。